

ワン・モア・ステップ

あびこプラス・ワン賛助会通信第6号

2020年6月1日発行

プラス・ワン

コロナウイルス休講、
6月末まで延長！
休講4か月続く！！

私たちは「コロナ」ウイルスよりも丁度100年前に、世界中に広がる「スペイン風邪」と戦っていました。

当時はウイルスのことがまだ知られず、日本では2年近くも続き、感染者が2千3百万人、死者が45万人にも及びました。

それは『流行感冒』と呼ばれ結核と同じように恐れられ、志賀直哉の小説にも描かれています。

しかもその2年後に関東大震災が起き、10万人が亡くなりました。

死者が震災よりも多いのに、私たちは忘れかけているのではないかと、大災害と隣り合わせにすることをあらためて思い知らされます。

今日では医療はもちろん、知識も情報も100年前とは比べものになりません。世界中の知恵を総動員して乗り越えていかなければなりません。

■□■□■□■□■□■

けやき教室うな吉さん家
と8階教室と**湖北台教室**

二つの教室は、市の施設として使用禁止になり「3月一杯」から「4月末」「5月末」「6月末」と繰り返し通達があり、その都度私たちも振り回され、休講がまだ続いています。

天王台教室(開講後)と
湖北駅前教室は・・・

天王台教室は生徒、スタッフ各7、8人で始まり、4月にはさらに新しい人が来てくれると期待していました。

そして市の施設が使用不可でも、借りている天王台(エール事業所)や湖北駅前(つくばね会)の教室も、感染防止のマスクや手の消毒を行えば継続ができました。しかし、私たちは万一の感染を考え、合わせて休講としました。



<家にいて退屈する孫と「ピタゴラスイッチ」や「お店屋さんごっこ」をしました。3か月も学校へ行かないのに日々成長しているのに驚きます>

うれしい話や、
がんばった事も

☆「応援メッセージ」

休講中の生徒さんとご家族へ「応援メッセージ」を送りました。谷川さんが中心となり、外へ出られない皆さんへ、スタッフが語ったりクイズにしたりしてまとめ、学習を励まそうとメッセージを送りました。

☆子どもの学習支援ネットワークへ教育委員会も

我孫子市子どもの学習支援ネットワークに教育委員会が協力団体として加わりました。また2月に予定していた不登校生や引きこもり青年にかかわる「講演会」がコロナ感染防止のため中止となりました。

☆賛助会総会

賛助会総会は施設使用が6月末まで禁止となり、“紙上”総会となります。よろしくお願いします。

昨年賛助会は、プロジェクトチームが、地域の企業へも加入と会費協力を訴え、多くの参加をいただきました。

☆「布佐ステーションホール」廃止へ抗議

暮に「同ステーションホール」閉鎖の発表があり、抗議活動を行いました。市議会では廃止の方向は変わらず、当面、駅階下の行政サービスセンターの一室として使うことになりました。



(相澤記)